参考資料３

電気通信事業者における利用者情報の取扱い状況　ヒアリングシート回答における主な項目の比較

社名		株式会社NTTドコモ	KDDI株式会社	ソフトバンク株式会社	楽天モバイル株式会社
１．利用者情報の取扱いの状況、位置情報の取得・分析					
1-1.	利用者情報取得の場面・取得する情報の内容	・別紙にて回答	・主にWebサービスやアプリの利用時に、サービスの利用履歴や登録いただいた情報を利用者情報として取得。利用履歴には閲覧履歴・決済履歴・購買履歴等が含まれる。	＜取得の場面＞ ・サービスのお申込時、ご利用時、お問い合わせ対応時等に、取得。なお、取得時の同意については 2-2.を参照。 ＜情報の内容＞ ・氏名、住所、生年月日、性別、電話番号、職業、勤務先、メールアドレスなど。なお、個人情報の取得全般については、プライバシーポリシーに公表している。 https://www.softbank.jp/corp/privacy/telecom/	・サービス（回線、オプション、その他楽天モバイルから提供しているアプリ等のサービス）利用時。利用者の氏名、年齢、住所、電話番号等の情報。
1-2.	位置情報取得の場面・取得する情報の内容	・別紙にて回答	・auカーナビ・My au・au PAY等のアプリケーションにてGPS位置情報を取得。また、アプリ利用時に取得するGPS位置情報以外に、基地局側で取得する位置登録情報も取得。	＜取得の場面＞ ・契約時の通信サービスの約款等により、同意を取得し、通信サービス提供に必要な範囲で取得。 ●基地局に係る位置情報＊： ・電源をONにしたタイミングや個々の通信時以外に移動体端末の所持者がエリアを移動するごとタイミングなど。 （＊位置登録情報：通話やメール等の通信を成立させる前提として取得している情報） ●Wi-Fi位置情報＊： ・端末がアクセスポイントと接続し、外部と通信を行う前提として、端末がMACアドレス等をアクセスポイントに送信するタイミングなど。 （＊Wi-Fiのアクセスポイントと移動体端末間の通信を位置情報の測位に応用することによって、利用者によるインターネット接続の前後を問わず取得される位置情報） ＜情報の内容＞ ●基地局に係る位置情報： ・基地局の識別番号、端末の識別番号、取得日時など ●Wi-Fi位置情報： ・日時、端末MACアドレスなど	・回線サービス提供に伴う取得（基地局位置情報など） ・アプリ等で GPS 取得を許可されている場合の取得（GPS 位置情報）
1-3.	アプリやサイト（ブラウザ）経由の取得の状況・今後の予定	・別紙にて回答	・弊社提供サービスをご利用いただくことに伴うサービスの利用情報等を取得。	＜取得の状況＞ ・各サービスごとに、サービス提供に必要な範囲で、取得。 例えば、弊社WebサイトではGoogle Analyticsを利用してサイト訪問者の行動履歴（ページ遷移、離脱等）を取得。 ＜今後の予定＞ ・お客さまへの説明についてより一層わかりやすくする取り組みを検討中。	・Rakuten Link、My 楽天モバイルなどアプリによる取得あり。今後もアプリやブラウザによる取得の予定あり。
1-4.	端末からの取得情報（センサー情報等）	・別紙にて回答	・弊社スマートホームサービスであるau HOMEでは、各種デバイスのセンサーにより、以下のような情報を取得。 ・開閉センサーによるドアや窓の開閉情報 ・マルチセンサーによる人/動物の検知情報 ・スマートロックによる鍵開閉情報 ・睡眠センサーによる心拍・呼吸・体動情報 ・スマートプラグによる電気使用量情報　等	＜GPS、位置センサー等の取得情報＞ ・日時、IDFAもしくはAdvertisingID、端末IPアドレス、GPS緯度経度情報など、アプリケーションに依存。	・端末識別 ID(IMEI)、端末機種名、OS 情報、端末に紐づく広告 ID（IDFA、Advertising ID）、位置情報(WiFi, Bluetooth)。
1-5.	取得情報の加工・分析・利用状況	・別紙にて回答	・取得した情報は、サービス毎に利用実態の分析やレコメンデーションに利用するほか、当社が付与した識別子をキーとして様々なサービスで取得した利用者情報を集約し、サービス横断での利用実態の分析を実施し、自社サービスのマーケティング活動を目的にサービス利用者のプロファイリングやターゲティング広告に利用。	＜利用・分析状況＞ ・取得時の利用目的の範囲でサービス提供やお問い合わせ対応などのために利用、また、商品開発などを目的とした経営分析などに利用。 ・利用の目的の詳細については、プライバシーポリシーを参照。 https://www.softbank.jp/corp/privacy/ ＜匿名加工情報への加工＞ ・広告ビジネスを目的とし、個人情報保護法に則り、匿名加工情報としてHPに公表の上、加工、利用している。 ・詳細は、「お客さま情報の利活用にあたってのプライバシー保護の取り組み」を参照。 https://www.softbank.jp/corp/privacy/utilization/ ＜統計情報への加工＞ ・公共計画などを目的とし、匿名化、統計処理、秘匿化の加工を行い、統計データとして利用。	構成員限り

社名		株式会社NTTドコモ	KDDI株式会社	ソフトバンク株式会社	楽天モバイル株式会社
1-6.	位置情報と位置情報以外の情報（加入者情報等）を組み合わせた分析・利用状況	・別紙にて回答	・各サービスの改善の分析等の他、位置情報に性別・年代の属性情報を付与してエリアの人口動態が分析できるサービスを官公庁や自治体、その他民間企業に対し提供。 （https://k-locationanalyzer.com/）	・位置情報と位置情報以外を組み合わせた分析・利用を行っています。例として、位置情報を統計化したデータと年代などを組み合わせることで、各地域ごとの年代別の人流の変化を分析することで、新型コロナウィルスへの対策検討や、災害時の避難状況の把握などに利用。 ・詳細は、「お客さま情報の利活用にあたってのプライバシー保護の取り組み」を参照。 https://www.softbank.jp/corp/privacy/utilization/	構成員限り
1-7.	利用者情報の第三者提供の状況	・別紙にて回答	・各サービスの提供に必要な範囲で利用者情報の第三者提供をしている。例えば、弊社グループ会社と連携した割引や特典の付与等のために利用者情報を提供する場合がある。	・個人データの第三者提供は、お客さまの同意に基づき、実施。例として、スマートフォン決済の新規ユーザー登録を簡便化するために、お客さまの同意に基づき、情報連携を行うことで、快適なユーザー体験とお得な特典を実現。	・楽天グループへの共有（キャンペーンのポイント付与、広告）。 ・公的機関等による開示命令への対応。
1-8.	広告ビジネスモデルへの利用者情報の活用状況	・別紙にて回答	・cookie等を利用し、広告配信事業者を介してインターネット上のさまざまなサイトやアプリにおいて、弊社の広告を掲載。	・広告ビジネスに、利用者情報を利用。 ・詳細は、「お客さま情報の利活用にあたってのプライバシー保護の取り組み」を参照。 https://www.softbank.jp/corp/privacy/utilization/	・利用者情報を利用した当該サービスに関する広告の提供。
1-9.	利用者のプロファイリング・セグメント化状況	・広告ビジネスにおいて、cookieや位置情報等を用いたプロファイリング・セグメント化を行う等の取組をしている。	・お客様に入力いただいた属性情報（性別・年齢・子供の有無など）をターゲティングセグメントとして用いるほか、各サービスの利用頻度や各種利用情報を分析・利用。	・年齢、性別、位置情報に基づいたセグメントを作成し、広告ビジネスに活用。 ・詳細は、「統計サービス・推奨型広告について」を参照。 https://www.softbank.jp/corp/privacy/utilization/ads/"	・特になし
1-10.	利用者情報、位置情報取得との関係での留意事項、参照している GL 等	・cookieの取得や利用にあたっての留意事項として、Webサイト等の利用者の導線上にて、パーソナルデータを利用している外部サービス（3rdパーティの情報収集モジュール等）を自動検出し通知する。（https://www.nttdocomo.co.jp/utility/term/） ・利用者情報、位置情報の取得及び利用においては、「電気通信事業における個人情報保護に関するガイドライン」、「位置情報プライバシーレポート」、「SPI」を遵守する。	・お客様に対して取得データ・利用目的を明確に提示し、必要最低限かつ具体的なデータの取得・目的を提示して同意を取得。 ・位置情報のマーケティング利用・グループ会社へのマーケティング目的での第三者提供については、同意をいただいた後も撤回できるオプトアウト機能を提供。 ・「電気通信事業における個人情報保護に関するガイドライン」をはじめとした特定分野ガイドラインや、SPI、位置情報プライバシーレポート等を参照。	＜留意事項＞ ・法令やガイドラインの遵守に加え、（設問６のPIAに関連し）利用者情報や位置情報の利活用案件ごとに、プライバシーへの影響を、社内の専門組織が評価するとともに、必要に応じて、社外有識者への確認。 ・PIAでは、リスクの評価結果に応じて、リスクの低減を行い、また、お客さまに対しては、わかりやすさと詳細さのバランスを考慮した説明を行う等の取り組みを行っている。 ＜参照しているGL等＞ ・個人情報保護法関連の各種ガイドライン、電気通信事業法関連のガイドライン、位置情報プライバシーレポート、スマートフォンプライバシーイニシアティブ、カメラ画像利活用ガイドブック、AI・データの利用に関する契約ガイドライン、DX時代の企業のプライバシーガバナンスガイドブック等、政府の文書。 認定個人情報保護団体の指針や各種業界団体等のガイドブック、および、社内規定類。	・電気通信事業における個人情報保護に関するガイドライン ・電気通信事業における 「十分な匿名化」に関するガイドライン ・SPI ・位置情報プライバシーレポート ・同意取得の在り方に関する参照文書
２．利用規約・プライバシーポリシー					
プライバシーポリシー等					
2-1.	利用者情報の取扱いに係るプライバシーポリシーの内容	・「NTTドコモ　プライバシーポリシー」は、「NTTドコモ パーソナルデータ憲章」に基づき、パーソナルデータの取扱いに関する方針として「当社がパーソナルデータをどのように取扱っているのか」「お客さまが自分のパーソナルデータをどのように管理することができるのか」などを明らかにしている。具体的には、パーソナルデータの取得、利用目的、安全管理及びお客様問い合わせ窓口等を公表。 ・あわせて、お客様が各種サービスを利用される際のパーソナルデータの第三者提供について「パーソナルデータの取扱いに関する同意事項」として公表。	・1-10で記載しているガイドライン等を踏まえ、利用する情報や目的、その他必要事項を弊社方針として記載した「プライバシーポリシー」を制定・公開。また、アプリ毎に「アプリプライバシーポリシー」を制定し、アプリ特有の利用目的等を記載。 ＜参考＞ ・KDDI プライバシーポリシー (https://www.kddi.com/corporate/kddi/public/privacy/) ・アプリプライバシーポリシー（例： My auアプリ【iOS】） (https://www.kddi.com/app-policy/ios/app-policy-Myau-1.2.html)	・個人情報の取り扱いについては、個々のサービスでお客さまへのご説明が必要な場合は、各サービス約款・利用規約等に記載。また、個人情報の取り扱い全般をプライバシーポリシーに記載し、当社ホームページに公開。 プライバシーポリシー https://www.softbank.jp/corp/privacy/telecom/	・下記ページに集約。 https://corp.mobile.rakuten.co.jp/guide/privacy/
2-2.	サービス利用開始前の利用者への示し方、通知/同意取得の方法（導線及び掲載場所）	・「NTTドコモ　プライバシーポリシー」は、コーポレートサイトのトップページから1クリックで辿り着ける場所に配置。 ・個別のサービス利用申込みの際には、利用規約等にパーソナルデータの取扱いについて「NTTドコモ　プライバシーポリシー」にて公表している旨を定めている。	・各種サービスの契約・申込時にプライバシーポリシーを掲示しています。具体的には、WEB画面では申し込み動線の中で表示をしています。対面での申し込みの際は、重要事項説明書に利用目的を明示し、口頭でご案内している。	・プライバシーポリシーは、当社ホームページに公表し、また各サービス約款・利用規約は、必要に応じて当社ホームページ等に公表。お客さまがサービスをお申し込みされる際は、各サービス約款・利用規約及びプライバシーポリシーを通知し、同意を取得。例として、携帯電話の契約締結時には、ショップなどでお客さまに利用規約の説明を行い、同意を取得。	・上記の通り当社 Web サイト上に掲載し、いつでも誰でも閲覧可能な状態としている。また、アプリに関してはアプリからプライバシーポリシーにリンク可能な状態としている。 ・回線契約時やアプリ利用開始時にリンクを掲載し同意した上での申し込みを受けている。 ・位置情報等に関する情報に関しては、契約の申込みやアプリ利用開始時に別の利用の同意に関する文言を個別に明確に表示した上で承諾を取得している。（承諾をしないことも可能であり、また、同意しているユーザも事後のオプトアウトも可能としている。
2-3.	変更に際しての通知/同意取得の方法	・2019年12月の「NTTドコモ　プライバシーポリシー」再編の際に、３か月以上の周知期間を設けてdポイントクラブ会員向けにSMSやメール等によるプッシュ通知、郵送等による周知を徹底した。	・各サービスの利用規約等で情報の取り扱いについても規定しており、利用目的等を変更した際には都度同意をしていただく。またKDDIプライバシーポリシーについては、最新版を弊社HP上にて公表しているほか、通信サービスを含む各種サービスの契約タイミングで最新版のプライバシーポリシーを参照し同意をしていただく。	・軽微な修正の場合＊は、HPでお知らせを行っている。 ＊変更前の利用目的と関連性を有すると合理的に認められる範囲 重要な変更の場合には、一斉メール送付、サービス利用時等に同意取得を予定。	・目的の範囲内の変更についてはウェブサイト上で公開。 ・目的の範囲を超えた変更については現状実績なし。
2-4.	利用開始後（最初の同意・通知後）における、定期的な通知等の工夫	・定期的な通知はしていないが、利用者が同意した内容について容易に確認可能とする「パーソナルデータダッシュボード」のしくみを用意している。	・プライバシーポリシーの他、各サービスの利用規約および各アプリプライバシーポリシーに関しては、弊社HP上で最新版及び過去版を公表しているほか、特定のサービスについては、お客様のau IDアカウント管理画面上で、お客様が同意した規約バージョンの内容と最新バージョンの確認ができるようにしている。	・現在、利用開始後の定期的な通知は行っている。	・上記の通り当社 Web サイト上に掲載し、いつでも誰でも閲覧可能な状態としている。アプリに関してはアプリからプライバシーポリシーにリンク可能な状態としている。また、変更が生じる場合は、上記の通りウェブサイト上で公開。アプリに関しては再度ログインする場合等に同意を取得している。

	社名	株式会社NTTドコモ	KDDI株式会社	ソフトバンク株式会社	楽天モバイル株式会社
透明性確保のための工夫					
2-5.	利用者情報の取扱いを分かりやすくするための考え方、工夫や対処 （利用者への働きかけや情報提供、ユーザーテストの実施等）	・「NTTドコモ　プライバシーポリシー」および関連コンテンツ「知ってナットク！ドコモのパーソナルデータ活用」「パーソナルデータダッシュボード」を公表している他、利用者の認知度・満足度等のアンケート調査を実施。 ・コロナ禍による位置情報への関心の高まりを受けて、「知ってナットク！ドコモのパーソナルデータ活用」のコンテンツを拡充（「ナットク！位置情報のトリセツ」）する等、継続的改善を実施。	・プライバシーポリシーや各種利用規約の中で説明しきれない詳細な内容についてはプライバシーポータル （https://www.kddi.com/corporate/kddi/public/privacy-portal/）にて補足説明。 ・位置情報のマーケティング利用等、特定の同意事項に関してはオプトアウト機能を提供し、プライバシーポータルからオプトアウト機能へリンクするなどして、お客様のプライバシーに関わる情報をプライバシーポータルに集約。 ・プライバシーポータルの制作にあたってはユーザーテストを実施しており、今後もお客様のご意見や第三者の評価を踏まえたアップデートを継続的に実施予定。	＜考え方＞ ・利用者情報の取扱いを分かりやすくするため、以下のような考え方、世界観をもって、取り組んでいる。 ・重要なポイントをわかりやすく、Web等でコミュニケーションすることで ・手続きの負担感やわかりにくさを解消し ・お客さまが、いつでも確認して安心でき ・その時その時で、意思を反映・変更、開示請求もできる ＜利用者への働きかけ等＞ ・現在、さらに透明性を確保する具体的な工夫や対処を検討中。	・下記ページのようなイラストを用い概要説明する等の方法による情報提供。 https://corp.mobile.rakuten.co.jp/guide/privacy/
2-6.	同意取得/通知に際しての、利用規約やプライバシーポリシーを理解しやすくするための工夫 （階層的アプローチ、ダッシュボード、ジャストインタイム、アイコン、モバイル及びスマートデバイスの特徴の利用等）	・利用者が同意事項を確認できる「パーソナルデータダッシュボード」やパーソナルデータの活用例を例示する「知ってナットク！ドコモのパーソナルデータ活用」を公表。 ・アプリケーションプライバシーポリシー（以下「APP」）では、利用者にとって分かりやすい表示方法として、概要版の表示及び詳細版閲覧用のリンクを設けているほか、項目毎に開閉可能な階層型で作成する運用としている。	・2-5に記載しているとおり、プライバシーポータルでよりわかりやすい説明に努めている。同意画面や規約文章等についても、お客様のご意見や第三者の評価を踏まえ、継続的に改善を実施予定。	・お客さまが、利用規約やプライバシーポリシーを理解しやすくするため、現在、さらに透明性を確保する具体的な工夫を検討中。	・上記ページのとおり、個別のプライバシーポリシー以外にイラストを用いた全体のプライバシーポリシーの概要を設け、その下に個別の事業・アプリに応じたプライバシーポリシーを設ける階層的なアプローチをとっている。また、アプリに関しては、アプリからプライバシーポリシーにリンク可能な状態としている。
オプトアウト					
2-7.	利用者情報の提供を希望しない意思を示すオプトアウトの設置状況（方法、対象範囲等含む）	・利用者が自身のパーソナルデータの取扱いについて意思表示できる項目は、原則全て「パーソナルデータダッシュボード」から選択できるようにしている。 ・パートナーへの第三者提供については、提供情報（基本情報／利用情報／位置情報／医療健康情報）×提供先（ドコモグループ／dポイント加盟店／その他提携先）ごとに停止できるオプトアウトを用意。 ・位置情報の利用については、ドコモが利用しないように意思表示することができる設定変更画面を用意。	・位置情報のマーケティング利用・マーケティング利用目的でのグループ会社への第三者提供等の同意事項については、各同意の取得時、及び、au IDのアカウント管理画面にて、お客様がオプトアウトできる。また、GPS情報の取得についても、各取得アプリで取得の停止を行う事ができる。	・プライバシー保護の取り組みにおいて、公式アプリやMySoftBank（お客様向けの契約等を管理できるサイト）などで、統計サービス、推奨型広告、DM送付のオプトアウトを用意し、お客さま自らがこれらを利用停止できる手段を設けている。	・利用者情報に関してはプライバシーポリシーに基づき削除、停止等を認めている。 ・位置情報等に関する情報については、オプトアウトを認めている。
2-8.	オプトアウトをした場合のサービス利用継続の可否	・利用者が自身のパーソナルデータの取扱いについて意思表示できる項目は、原則全て「パーソナルデータダッシュボード」から選択できるようにしている。 ・利用者はオプトアウト後も継続してサービスを利用できるようにしている。	・2-7に記載のオプトアウトを行った場合でも、各サービスの利用は継続可能。	・利用継続は可能。	・利用者情報に関しては、サービスを継続したままオプトアウトできる範囲はプライバシーポリシーで認められた範囲のみ。 ・位置情報等に関する情報についてはオプトアウトしたままでサービス利用継続可能。
2-9.	利用者情報の提供について個別に選択できるダッシュボード等の設置状況（方法、対象範囲等含む）	・利用者が自身のパーソナルデータの取扱いについて意思表示できる項目は、原則全て「パーソナルデータダッシュボード」から選択できるようにしている。 ・「パーソナルデータダッシュボード」では、「第三者提供の管理」「位置情報利用の管理」「お知らせ配信の設定」「dアカウント連携サービスの変更」が可能。	・2-7に記載のオプトアウトやメールマガジンの停止等の手続きについて、プライバシーポータルに動線を設置。	・現在、個別に選択できるダッシュボード等を検討中。	・2－5、2－6 記載のもの。
データポータビリティ					
2-10.	データポータビリティに関する取組 （データポーテビリティーを求める方法、対象範囲）	・現時点ではデータポータビリティに対応していない。	・ユーザニーズや事業分野ごとの必要性に応じて実施を検討する。	・現在は対応していない。	・なし
2-11.	データポータビリティが可能である場合 ・提供されるデータのフォーマット ・提供先の要件 ・インターオペラビリティ確保に関する考慮状況	・現時点ではデータポータビリティに対応していない。	回答なし	・N/A	回答なし
2-12.	個人情報保護法に基づく開示請求への対応状況 （電磁的な開示の実施状況、開示請求の方法、提供フォーマット等）	・開示請求方法は、「個人情報開示申請書」と本人確認書類を弊社宛に郵送し、契約者本人宛に回答を送付する形。 ・紙面による開示を行っており、電磁的方法による開示は行っていない。 ・開示請求手続方法は、「NTTドコモ　プライバシーポリシー」にて公表。 （https://www.nttdocomo.co.jp/utility/personal_data/request/?icid=CRP_UTI_privacy_to_CRP_UTI_personal_data_request）	・現状は、申請書を書面にて送付いただく形で受け付け、書面にて開示をしている。 ・また電磁的な開示については、個人情報保護法の改正に従い、対応を実施する予定。	＜現行法での対応状況＞ ・コールセンターに「個人情報専用窓口」を設け、専門スタッフが個人情報責任部署や関係部門と連携し、お客さまへの開示等請求対応を行っている。現在の提供フォーマットは文書。 ＜改正法での電磁的な開示＞ ・本年5月頃に予定されている個人情報保護委員会のガイドライン案の公表を確認の上、電磁的なフォーマットでの提供を検討する。	・下記 https://corp.mobile.rakuten.co.jp/guide/privacy/request/index.html
３．他アプリやサイトを経由した情報収集の状況					
3-1.	他アプリやサイトを経由した情報収集の状況	・パートナーのWebサイトで、ドコモの情報収集モジュールによりcookie等の情報を取得する場合がある。	・実施していない。	・まもなくサービス終了予定だが、以下の収集を行っている。 ・自社広告タグとして「SB AdsPlatforrm」タグをサービス提供 ・他社広告のインプレッション計測に当社1stPartyタグを使用 ・なお、他社にSBタグを置いて、SBがデータを吸い上げている事例はない。	・特になし
3-2.	他アプリ提供者やサイト運営者に対し、どのような同意取得や通知を促しているか	・Webサイト運営者がドコモの情報収集モジュールを導入する際の契約において、所定のWebページへのリンクを表示する等、Webサイト訪問者への説明を行うことを定めている。 （https://www.nttdocomo.co.jp/utility/term/handling_information.html）	回答なし	・まもなくサービス終了予定だが、「SB AdsPlatform」のタグ提供時に、ユーザー向けのオプトアウト画面のURLを提供。	回答なし
3-3.	JavaScript の取扱状況 （後から情報取得内容が変更されることについて、他アプリ提供者やサイト運営者にどのように伝えているか等）	・JavaScript自体の詳細仕様は開示していないが、取得している情報やオプトアウト方法は公表。 （https://www.nttdocomo.co.jp/utility/term/handling_information.html）	回答なし	・過去に仕様変更を実施していないが、変更する際はサイト運営者に都度案内を実施する運用ルールとなっている。	回答なし
3-4.	複数の他アプリやサイトから収集している場合の、情報管理状況	・複数のサイトから収集した情報について、dアカウントで認証されたユーザのデータを統合管理している。	回答なし	・現在他アプリや、他サイトから個人情報を収集していませんが、今後行う場合は自社が取得した情報と混在しないよう情報管理し、安全管理を行う。	回答なし

社名		株式会社NTTドコモ	KDDI株式会社	ソフトバンク株式会社	楽天モバイル株式会社
４．他社へのデータ提供、他社との連携の状況					
4-1.	他社に対する、取得した利用者情報・位置情報に基づくデータ提供の内容、提供に関する留意点（ユーザーへの説明、他社の監督、安全管理など）	・「基本情報」「利用情報」「位置情報」「医療健康情報」について同意を得たものについて、パートナーとの協業等のために必要最小限のデータを第三者提供している。 ・第三者提供にあたっては、提供情報、提供先、提供先の利用目的を定めた上で利用者の同意を得るようにしている。 ・提供先における利用目的は、利用者から同意を得た範囲から逸脱しないよう、提供先との二者間の契約等においても定めている。 ・業務委託に伴う提供においては、個人データの安全管理について委託先の監督を行っている。	・お客様から第三者提供の同意をいただいた範囲内のデータ・利用目的で他社に対してデータ提供を行う事がある。 ・利用者情報、位置情報の提供に際しては、目的に応じて集計・セグメント化等を行い、必要最低限の情報の提供を行うように留意。 ・第三者提供先に対しては、記録義務等の法律で求められる事項の他、社間での契約を締結し、目的外利用を禁止。また、弊社からの第三者提供先の大半を占めるグループ会社に対しては、コンプライアンス・情報セキュリティ等の観点でガバナンスを徹底し、お客様データを適正に取り扱っている。 ・第三者提供に際し、au IDアカウント管理画面内で同意の撤回（オプトアウト）を行うようなことができるようにしている。	＜お客さまへの説明＞ ・他社への提供は、個々のサービス約款・利用規約等及びプライバシーポリシーに、第三者提供を明記のうえ、お客さまに通知し、同意を取得している。また、提供を望まないお客さま向けにオプトアウトを用意。 ＜他社の監督・安全管理＞ ・委託先： 契約時に、安全管理措置についての契約条項を盛り込むと共に、締結後もデータ取り扱いの実地監査など、適切な安全管理措置が行われているか、監督を行っている。 ・第三者提供先： 契約時に、再提供、派生データの作成、公表、利用終了後の削除、などの禁止または報告義務などを取り決めている。 また、利用終了後の削除などの確認、安全管理を行っている。″	・楽天グループ内でのデータ提供あり。2ー5、2ー6のとおり、イラストを用い概要説明する等の方法による分かりやすい説明を実施。第三者提供にあたっては、ガイドラインに従った安全管理を実施。
4-2.	利用者情報・位置情報の取得・活用に関する、他社との連携状況、連携に関する留意点（ユーザーへの説明、他社の監督、安全管理等）	・ID連携、ポイント連携、決済連携、サービスの共同開発、その他付加価値創出を行う。 ・他社との連携においてはそれぞれが独立した取扱い主体として利用者への説明責任を果たし、提供されたデータの目的外利用の禁止等を明確化。	・グループ会社とサービスの提供や各種特典・割引サービスの提供等のため情報の連携を行っている。提供にあたっての留意点は4-1に記載の内容と同様。また、お客様への最適な情報提供のためにも連携をおこなっているが、au IDアカウント管理画面内で同意の撤回（オプトアウト）を行うことができる。	・個々のサービス利用前にサービスの約款・利用規約等で説明を行い、法令の必要に応じた同意取得を行っている。 なお、位置情報の利活用については、HPで図を交えた説明を行っている。 ●お客さま情報の利活用にあたってのプライバシー保護の取り組み https://www.softbank.jp/corp/privacy/utilization/ ●推奨型広告・統計サービス https://www.softbank.jp/corp/privacy/utilization/ads/ （具体例は、スライドを参照）	・楽天グループからの提供。プライバシーポリシーにおいて説明。ガイドラインに従った安全管理を実施。
５．アプリ提供マーケット					
5-1.	SPI に関する取組状況	・当社が開発するアプリケーションについては、スマートフォンプライバシーイニシアティブ（以下「SPI」）を参照し、APPの概要版・詳細版にて規定すべき項目、画面デザインや画面遷移等に関する社内マニュアルを策定し、マニュアル策定部門や関連部門の照会を経てAPPを策定しアプリケーションへ組み込む運用をしている。	・社内規程を作成し、弊社のお客さま向けに提供しているアプリについてはアプリプラバシーポリシー作成の義務化に加え、SPIⅡで推奨される監査まで実施している。また、KDDIが提供するお客様向けアプリすべてにおいて、全社ガイドラインをもとに、プライバシーポリシーに即した挙動となっているか審査を行っている。	・アプリマーケットの運営は行っておらず、アプリケーション提供者の立場のみとなる。 ・アプリによる情報収集は、アプリに組み込むSDKを含め、アプリ毎に収集する情報と提供先をレビューした上で、アプリ利用者へのコミュニケーションの在り方を指導している。	・アプリ提供マーケットの運営は現状なし。
5-2.	アプリケーションプライバシーポリシーの作成や利用者情報取扱いの透明性確保の観点からのアプリ提供者に対する働きかけや情報提供	・当社が開発するアプリケーションについては、SPIを参照して社内マニュアルを整備し、アプリ提供主管部門はマニュアル策定部門への照会を必須とする運用フローを実施している。 ・同意画面は、利用者にとって分かりやすい表示方法として、アプリケーションプライバシーポリシー概要版の表示及び詳細版閲覧用のリンクを設けているほか、項目毎に開閉可能な階層型で作成する運用としている。	・弊社アプリ提供PF上で提供するアプリに対して、SPI提唱項目に準拠したアプリプライバシーポリシーの開示を必須化し、利用者情報の送信に関する透明性の確保に努めている。	・アプリマーケットの運営は行っていない。	回答なし
６．PIA・アウトカムについての考え方					
6-1.	PIA の導入状況 （GDPR の DPIA の具体的なに実施方法や、その他の実施事例）	・パーソナルデータの取り扱いにおける理念を明確化し、自らを規律するものとして、「NTTドコモ　パーソナルデータ憲章」を制定。 ・パーソナルデータを利用する際に憲章に沿った実行性を担保するために、プライバシー影響評価制度（PIA制度）を導入。 ・PIA制度の仕組みとして、まず、パーソナルデータを活用した施策・サービスを実施するにあたっては、必ずデータ活用部門自らがプライバシー観点での懸念点の有無などについて自己評価し、必要なプライバシー保護施策を検討するとともに、評価結果に基づき施策・サービスの実施是非を判断することとしている。 ・さらに、一定の基準に該当するパーソナルデータ活用事案については、社内のPIA会議でプライバシーへの影響を評価している（詳細は6-2のとおり）。	・GDPRの規制対象の範囲内では実施の体制を整備。今後、GDPRの規制対象以外についても社内制度を現在検討中。	・CDO（Chief Data Officer)を責任者とし、社長をレポートラインとする全社横断の専門組織にて、プライバシー・バイ・デザインの考え方で、データ利活用前に案件ごと＊のPIA（リスクの評価）を行っている。 ＊通信の秘密、個人情報、その他プライバシー情報を扱う案件は全件確認している。	構成員限り
6-2.	利用者情報の取扱いに関するアウトカムについての検討状況 （検討している場合、どのような考え方に基づき判断しているか）	・社内にプライバシー影響評価に関する諮問機関であるPIA会議を設置し、活用するパーソナルデータの性質や利用態様に応じた付議基準を設け、一定のパーソナルデータ活用事案については、 データ活用部門による自己評価に加え、PIA会議において多角的な視点からプライバシーへの影響を評価する仕組みを設けている。 ・自己評価のみの場合もPIA会議で議論する場合も、パーソナルデータ憲章に反していないか、お客様や社会から受容していただけるかどうかという観点で、リスク評価を実施している。	・6-1とあわせ、必要な対応を検討している。	・PIA時、アウトカムについて、検討を行っている。 ＜判断にあたっての考え方＞ ・さまざまな関係者にとって 利益・便益というプラスの側面と、不利益や気持ち悪さなどネガティブな側面、双方から確認している。 具体的には、 ・お客さまにとって： 　便益につながる利用か？、不利益は生じないか？、プライバシー侵害にあたらないか？、気持ち悪さはないか？など ・事業者にとって： 　利用目的の範囲か？、必要な利用か？、価値を生む利用か？、利用環境、利用者、廃棄など安全管理に問題はないか？など ・社会にとって： 　社会的に価値ある利用か？、漏えいした場合のリスクの程度は大きいか？など	構成員限り
6-3.	利用者に対する、PIA の結果やアウトカムの説明の取組状況	・PIAの結果については、現状お客様に説明する取り組みは行っていない。 なお、当社としては、お客様にとって重要なのは、事業者がどのようにプライバシー影響を評価しているかではなく、実際に「どのような情報がどのような目的で利用されるのか」、「どのようなメリットがあるのか」、「取得・利用等を停止・拒否する手段はあるのか」という点だと考えており、それらの内容を含む施策・サービス等に係る報道発表やホームページ、同意取得時の説明ページなどにおいてご案内をするよう努めている。	・6-1とあわせ、必要な対応を検討している。	サービスの案内時や、ご利用開始前に、特にお客さまが気にされるだろうポイントに留意して説明を行っています。 なお、その説明の程度は、わかりやすさと透明性のバランスをはかるため、PIAの結果やアウトカムに応じて、説明の詳しさを変える取り組みを行っています。	構成員限り

別紙

利用者情報・位置情報の取得・分析・活用の例示

<table>
<tr><th colspan="2">項目</th><th>取得内容</th><th>同意取得場面</th><th>利用者情報・位置情報の取得場面</th><th>活用・分析・利用状況</th><th>第三者提供</th><th>統計加工利用</th></tr>
<tr><td rowspan="5">利用者情報</td><td>契約者情報</td><td>・氏名、住所、性別、生年月日、電話番号等</td><td>・携帯電話サービス契約時</td><td>・携帯電話サービス契約時</td><td rowspan="6">・ご契約内容に基づく各種サービス・機能の提供
・自社サービスの品質維持・向上
・自社サービス・アプリ・システム等の保全
・新商品や新サービスの企画、アンケート分析
・キャンペーン提案等、広告ビジネス活用</td><td rowspan="6">・パートナーとの協業に必要とする 同意の範囲内でパートナー企業へ提供</td><td rowspan="5">・自社サービスの品質維持・向上
・自社サービス・アプリ・システム等の保全
・新商品や新サービスの企画、アンケート分析</td></tr>
<tr><td>会員情報</td><td>・氏名、住所、性別、生年月日、職業、メールアドレス、ｄアカウントID、ｄポイントクラブ会員番号、端末識別子等</td><td>・ｄポイントクラブ会員加入時</td><td>・ｄポイントクラブ会員加入時</td></tr>
<tr><td>WEB・アプリ利用情報
ｄメニュー利用履歴</td><td>・訪問したWEBサイトの閲覧履歴、 cookie情報等
・アプリ起動回数等のアプリ利用ログ</td><td>・ｄポイントクラブ会員加入時
・アプリケーション利用開始時</td><td>・WEBサイトやアプリ利用等、当社サービス又は当社以外のサービス利用時</td></tr>
<tr><td>購買・決済情報</td><td>・ｄカー ド、ｄ払い等の決済利用情報等
・ｄポイントカード等の利用履歴等情報
・ケータイ払い購入商品、金額等</td><td>・ｄポイントクラブ会員加入時
・ｄカード契約時</td><td>・ｄカード、ｄ払い、、ケータイ払い ｄポイントカード等、当社サービス利用時</td></tr>
<tr><td>趣味・嗜好</td><td>・dポイントクラブアンケートにより取得した情報</td><td>・ｄポイントクラブ会員加入時</td><td>・ｄポイントクラブアンケート回答時</td></tr>
<tr><td colspan="2">位置情報</td><td>・アプリによる端末上の位置情報へのアクセスを許可設定した端末から取得するGPS位置情報
・端末の在圏情報（基地局位置情報）、 Wi-Fi 位置情報（アクセスポイントに関する情報）等</td><td>・ｄポイントクラブ会員加入時
・アプリケーション利用開始時</td><td>・端末の在圏登録時、dWi-Fiアクセスポイント通信時、当社サービス利用時等</td><td>・端末の在圏情報（基地局位置情報）について、非識別化処理・集計処理・秘匿処理による個人識別性の除去等を行ったうえで人口統計情報化し、「モバイル空間統計」としてサービス提供</td></tr>
</table>